

南さつま市（鹿児島県南さつま市）

R5補正
R6当初

76

背景・課題

南さつま市では有機農業をはじめとした自然循環型農業の促進を積極的に進めている。自然農法体験学校「ありのまま分校」を平成27年度から開校し、有機農業への理解を深めたり、生産・流通・加工・消費と様々な取組を実施することで有機農業の周知を図っている。

成果目標

有機農業の取組面積（いも・野菜類）

現状（R2） 6.8ha → （R9） 9.4ha

有機農業で生産された農産物等の学校給食等への供給量

現状（R2） 70kg → （R9） 2,500kg

有機農業に取り組む農業者数

現状（R2） 15人 → （R9） 16人

主な取組内容

市内唯一の農業学校である県立加世田常潤高等学校のは場の一部を有機農家の研修ほ場として管理し、担い手育成を行っている。また、有機農家が中心となり同高校等での実習を行っている。

①生産

- ・たまねぎを大きく育てて安定した出荷を目指すプロジェクトを実施。

②加工・流通

- ・加工野菜を学校給食に納入するための検討を行った。
- ・R5年度にんじんの葉を使った「ニンジン葉っぱ塩」やジェノベーゼソースの開発を行った。
- ・R6年度地元飲食事業所の協力を得てメニューの開発を行っている。

③消費

- ・学校給食への納入。（令和4年度～）
- ・学校給食に納品できる野菜を「ありのままお野菜」と表記し、ブランディングを行っている。
- ・有機農産物を入手しやすいよう、イベント等での販売会を行う。また、PR活動を行っている。



南さつま市

構 成 員

南さつま市、県南薩地域振興局、自然農法・オーガニック野菜委員会、県立加世田常潤高等学校、希望が丘学園鳳凰高等学校、(株)MOA商事、学校給食センター等

品 目

野菜（にんじん、いも等）



ありのままお野菜



県内初となる学校と市の有機に関する協定締結



学校給食へ納品



ありのまま分校での作業風景

普及に向けた取組

市内イベント等での販売会で市民への有機農業の周知及び自然農法体験学校「ありのまま分校」の開催により、有機農業をはじめとした自然循環型農業の促進を積極的に進めている。

問い合わせ先

南さつま市役所産業おこし部農村振興課生産流通係
TEL：0993-76-1603